

消火器点検アプリの本格運用に向けて（案）

消火器点検アプリの本格運用に向けて（案）

1 消火器点検アプリの使用実態調査の実施

- 平成31年10月1日に施行される改正消防法施行令により、延べ面積にかかわらず飲食店等には消火器具の設置が義務付けられることを踏まえ、消防庁において消火器における消防用設備等点検報告の促進を目的として、消火器点検アプリ（iOS版及びAndroid版）を開発し、平成30年4月1日から試行版を運用。
- 施行日までに本格運用を開始できるように、消火器点検アプリ改修の基礎資料とするための、消防本部や点検事業者、飲食店等関係者等を対象とした使用実態調査を実施。

<使用実態調査の概要>

・調査実施期間：平成30年10月29日～11月16日

・調査対象（有効回答数）

①消防職員 298人

②消防用設備等点検事業者 74人

③飲食店、物品販売店関係者 24人

・調査内容

①消火器アプリをダウンロードし、操作ガイドにより使用方法を確認。

②メニュー画面の「点検前の初期設定」⇒「消火器点検を実施する」⇒「点検結果を印刷用に出力する」の順に操作。

※実際に消火器をお持ちの方は、お持ちの消火器を点検。

③アンケート内容に回答。

（アンケート項目及び結果については資料6-1-2参照）

消火器点検アプリの本格運用に向けて（案）

3 今後の予定

今後、使用実態調査の結果を踏まえ、改修を行い、消火器点検アプリに消防本部や使用者の意見等を反映させた上で、年度内に消火器点検アプリの本格運用を行う。

スケジュール（案）

| | |
|-----------|--------------------------|
| 平成30年12月中 | 使用実態調査の結果を集計・分析し、改修案を作成。 |
| 平成31年1～2月 | 消火器点検アプリの改修を実施。 |
| 平成31年3月中 | 消火器点検アプリの本格運用を開始 |

【その他】住宅用消火器の自主的な点検を促す広報について

消火器点検のリーフレットやアプリの内容を踏まえて、一般住宅において設置している住宅用消火器等についても

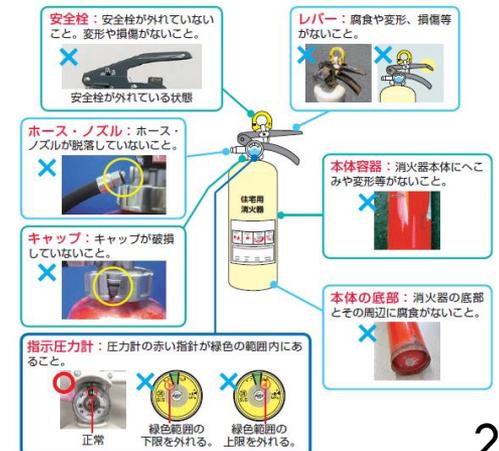
- ・自主的な点検方法
 - ・使用期限を過ぎた消火器の廃棄方法
- などを写真やイラスト等を用いてわかりやすく説明したリーフレット等を作成し、一般の方々へも広報・周知する方法を検討。

リーフレットイメージ



消火器がたとえ使用期限内であっても、いざというときに不具合等で使えなければ意味がありません。購入したら、半年に1回程度、異常がないかチェックしましょう。

このような状態の消火器は絶対に使用せずに販売店等に相談しましょう



▶古くなった消火器の廃棄については、次のページでご紹介します。